

(広報資料)

令和4年7月8日
京都市北区役所
(担当:地域力推進室 075-432-1199)

令和4年度[つながる 北区 Next] 北区民まちづくり提案支援事業の決定について



北区役所では、北区民の皆様の主体的なまちづくり活動を支援する「[つながる 北区 Next]北区民まちづくり提案支援事業」を実施しています。この度、多くの団体の皆様に御応募いただき、審査会を経て、応募総数28件のうち19件を採択しましたので、お知らせします。

○令和4年度[つながる 北区 Next]北区民まちづくり提案支援事業採択団体一覧

※順不同

	事業名	事業概要
	団体	
1	京都ファミフェス2022	大宮交通公園にてワークショップ中心のイベントを開催することで、地域の子どもたちをはじめ、大学生や働き世代といった多種多様な人々の交流の場を創出する。
	京都ファミフェス実行委員会	
2	秋の自然観察と間伐体験	地域の輪が広がる森づくりイベントの開催や秋の紅葉シーズンにおける自然観察会の実施を通じて、森の知識を広めるとともに、継続的な森づくり活動への参加を促す。
	特定非営利活動法人ひととりデザイン研究所	
3	アフターコロナを見据えた持続可能な地域イベントの創出	紫野小学校区において、各種団体と連携し、夏祭り、ハロウィンフェスティバル、ふなおか桜パンまつりを開催する。
	紫野小学校区イベント実行委員会	
4	空き家・空き室を社会に活かす住宅セーフティネットフォーラム ～高齢者、低額所得者、被災者、障害者、子育てする者、大学生等の居住支援～	高齢者、低額所得者、大学生等への居住支援に対する理解と協力を広めることを目的としたフォーラムの開催や、居住支援団体との連携で相談会等を実施する。
	特定非営利活動法人くらしコープ	
5	子ども伝統文化体験講座	伝統文化の体験を主軸とする講座の開催を通じて、親子で文化を理解する機会を増やすとともに、伝統工芸に携わる方々とのつながりの場を創出する。
	上賀茂神社アートプロジェクト実行委員会	
6	SSC(新大宮 商店街 コーヒー) つながる コーヒーの輪	コーヒーを通じた人と人とのつながり、学生と地域とのつながりをより一層強めていくことを目的に、新大宮商店街にてコーヒーイベントを実施する。
	大谷大学珈琲研究会	
7	街と山をつなぐ『山間地域の持続可能性確保』 Vol.2 北山杉の里で国際交流	市内の大学生や留学生を対象に、北山杉のレクチャー、木育体験等を実施することで、北山林業への理解を深めてもらうとともに、意見交換会を通じた参加者同士の交流を促進する。
	一般社団法人 京都北山杉の里総合センター	
8	障害のある人もない人も共に生きるまち～『ふれあい共生館』きたアトリエから発信	「きたアトリエ」を拠点として、障害のある人の芸術創造活動を発信・推進し、その魅力を地域はもとより広く社会に発信する。
	特定非営利活動法人障害者芸術推進研究機構	

	事業名	事業概要
	団体	
9	SHICHIKU BANO TOMO	幅広い世代を対象に、朝の時間を活用して運動や文化的活動を行う「朝活」や、運動と食事の講習会等を通じて、住民の健康長寿への関心を高めるとともにネットワーク基盤の構築、地域の活性化を目指す。
	紫竹まつり実行委員会	
10	北区おやじ・おふくろフェスタ	「おやじ・おふくろフェスタ」開催を通じて区内の各学区間の交流を図り、ノウハウを共有することで、各学区のまちづくり活動活性化につなげる。
	北区「おやじ・おふくろの会」連絡会	
11	「オンラインふくろう文庫」講師たちによる リレーワークショップイベントの開催	子どもを対象に金融教育や性教育などをテーマとしたワークショップイベントを開催するなど、オンラインとリアルを融合させてイベントを実施する。
	梟文庫	
12	大人の寺子屋	大徳寺雲林院を地域住民が集いつながることができる場にするため、毎月1回、幅広い分野から講師をお招きし、多種多様なテーマについての学びや交流の場を提供する。
	京都市紫野包括支援センター	
13	大空アトリエ	大空アトリエ（野外アトリエ）を開催し、新型コロナウイルスの影響を受ける子どもや保護者の心のケアとして、皆で共有でき、楽しめる時間を創出する。
	STUDIO SOA	
14	ベビーキッズ用品交換会	コロナ禍において、家にこもりがちになってストレスを抱えている母親たちに向けて、育児用品を交換し合う会を設けるとともに、育児の相談ができるブースも設けたイベントを実施する。
	子育て応援し隊	
15	ふるさと柘野・つながりプロジェクト	公園のよりよい活用に向けた子どもたち主体のワークショップ開催をはじめ、公園をより安全で活用しやすくするための取組や地域の施設・資源を活用した取組を行う。
	ふるさと柘野・つながりプロジェクト	
16	紫竹Primitive Life (プリミティブ ライフ) 《水・火と心》	「水」と「火」を自分たちで確保することで、その大切さを再認識するとともに、災害時の備え、日本原点の歴史や文化、「心」を体験することを通じて、幅広い世代の交流を図る。
	紫竹学区自主防災会	
17	わくわくラボ/科学の森	子ども向けの科学実験体験イベントを開催するとともに、家庭で楽しめる科学実験や身近な化学現象を紹介する小学生向けの読み物の作成・配布を行う。
	サイエンスコミュニケーション研究会「サングラス」	
18	紫竹キッズキャンパス	紫竹小学校を1つのキャンパスと見立て、参加児童が実際の大学教員や地域住民等を講師とした授業を受講することで、地域の持つ資源や歴史等を学ぶ機会を創出する。
	紫竹少年補導委員会	
19	葵を育むみんなのビオトープ	上賀茂小学校におけるビオトープの整備を継続して実施しながら、フタバアオイの育成環境を整えていくほか、ビオトープ内の生物マップの作成など、児童を主体とした企画を行う。
	京都産業大学PBL上賀茂小学校ビオトープチーム	

(参考)

○審査会について

開催日時：令和4年6月25日（土）午前9時30分～午後3時30分

開催場所：北区役所西庁舎2階講堂

審査委員：委員長 志藤 修史 大谷大学社会学部コミュニティデザイン学科教授

委員 高山 愛子 一般社団法人京都中小企業家同友会北支部 副支部長

委員 杉原 恵 myturn 代表

委員 酒枝 素子 特養老人ホームヴィラ上賀茂 管理者

委員 高奥 英路 北区地域代表者会議会長

委員 山戸 龍徳 市民公募委員

○令和4年度[つながる 北区 Next]北区民まちづくり提案支援事業について

募集内容：まちの課題解決、まちの魅力向上、まちの活性化につながる取組であり、
北区基本計画に掲げる10のライフステージ等ごとの「action1～3」いずれか
を实践する活動

補助率：補助対象経費の50%

上限額：30万円（3年目のみ25万円）

対象団体：次のいずれかの団体

- ① 区民（北区に通勤・通学等をしている方を含む）を中心に構成される団体
- ② 学生を中心に構成されるグループ